講義名	企業倫理論				
科目区分	学部専門科目				
担当教員	李　東浩				
開講期・曜日・時限	前期 木曜日 ４時限		授業形態		
	2014年度 サービス産業学部 サービスマネジメント学科 福祉マネジメントコース／2014年度 サービス産業学部 サービスマネジメント学科 サービス心理コース／2014年度 サービス産業学部 サービスマネジメント学科 スポーツ健康マネジメン／ 2014年度 サービス産業学部 サービスマネジメント学科 サービスマーケティング／2014年度 サービス産業学部				
履修開始年次	３年生	単位数	2	備考	

主題と概要

★本授業は正真正銘の双方向・多方向的な授業である★
★本授業は独自開発した「ファイブ・モジュール」考える学習型授業教育法を実施する★
★本授業の実施方法の詳細について、https://ryuka.repo.nii.ac.jp/ →「高等教育推進センター紀要→第２号→以下の論文を参照してください（全文無料ダウンロード可）。　李東浩（2017）「学生の心を掴む生きた教育 ―教学双方の意識転換によるアクティブラーニング― 」『流通科学大学高等教育推進センター紀要』第２号　pp.75-104（30頁）★
★ちなみに、本ゼミの実施方法の詳細について、以上同様に→第３号→以下の論文を参照してください。　李東浩（2018）「学部ゼミ運営に関する一模索 ―「楽しく頑張る」から「ひとつくり ―」」『流通科学大学高等教育推進センター紀要』第３号　pp.1-19（19頁）★
★単位だけ欲しがる学生・自信のない学生は履修を勧めしない★
★真面目な学生・本気に勉強の意欲がある学生は強く勧める★
★毎回、面白いビデオがある★
★毎回、楽しいレスポン問題回答がある★
★毎回、討論時間と発言時間がある。正真正銘の双方向・多方向的な授業★
★先生だけからの学びではなく、学生同士が互いに勉強できる革新的な学びの仕組み★

企業倫理をはじめ、コーポレート・ガバナンス（企業統治）、コンプライアンス（法令順守）、CSR（会社の社会的責任）、内部統制などの問題を中心に進める。不祥事の抑止、経営の健全性を確保することともに、近年、執行役員制度・社外取締役/監査役の導入など経営の効率性を促進する試みも各国で盛んに展開されている。本講義では、理論の発展と共に、企業倫理観の良い例と良くない例について具体的なケースを触れながら解説する。

到達目標

①知識・技能の観点：
本授業は、学修するものにとって当然知っておくべき知識と技能を習得できる内容になっている。
②思考力・判断力・表現力等の能力の観点：
基本的な理論を紹介するだけでは面白くない。毎回の授業にビデオがあり実際の組織をも採り上げるので、理論と実際とをバランスよく理解できる。ただビデオを単なる見るだけで終わるのではなく、考え、判断、討論、発言、考え直し、まとめ、といった一連の仕組みで、毎回知識と能力が身につけることを実感できる。
③主体的な態度の観点：
履修生は、本授業を学修することによって、能動的に主体的に勉強することの習慣を養成できる。

「効率性」「営利性」など企業の利益追求活動と「人間性」「社会性」など企業倫理的な視点から総合的に企業倫理観を養成する。
学生は、本講義を学修することによって得られた企業倫理の理論とケースの知識と能力を身につけ、正しい倫理観を形成できる。

提出課題

毎回、レスポンによる課題提出がある。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバック

毎回、前回のレスポン課題を解説する。

評価の基準

期末試験：原則１００％。
ただし、以下の配慮措置がある。
①警告私語・自由出入など迷惑行為・不正行為は毎回マイナスに評価する。
②授業参加の質量、討論、発言、優秀なレスポンなどはプラスに評価する。

履修にあたっての注意・助言他

先輩からの以下の意見を是非参考してください。
１．「五感に触れる画期的な授業」：→→充実な内容、効率的な進め方で知識と能力を身につけられる！
２．「この授業を1つの企業とすると、CEOに李先生で社員が私たち生徒だとすると、社員に意見する場を与えて、それを共有し、すぐに実行する。優良企業だと思います。モチベーションがとても高く維持できています」
３．「いま4回生だがもっと早くこの授業に出会いたかった」：→→知識そのものだけではなく、知識を獲得する姿勢と方法を学べる！
４．「単位を取ることはとても大切ですが、この授業では、それだけのための授業ではないと私は、強く思います」

教科書

.使用しない。.

プリント資料及び参考文献

１．レジメ（＝プリント）等資料は必ず各自事前に RYUKA Portal からダウンロードと印刷して教室まで持って来てください。早めにダウンロードを済ませてください。
２．授業はPPTとレジメ・資料、映像、討論で進む。レジメには穴埋めが相当設けられ、PPTと確認しながら記入してもらう。
３．参考文献：　『トップ・マネジメントの経営倫理』白桃書房　2009。　『経営倫理』同文舘出版　2003年。『図解　コンプライアンス経営』東洋経済新報社　2006年。他授業中随時紹介。

授業計画

先輩からの以下の意見をも是非参考にしてください。
本授業の履修を勧めない３つの理由：
１．毎回出席し授業まとめ文（レスポン）を提出　→結構大変、面倒くさいかなあ。
２．授業内容も多く教室紀律も厳しい　→私語・居眠り・携帯弄りなどは不可能に近い。
３．期末試験は難しい　→結局、真面目でないと単位を取る確率は低いかなあ。

授業シラバス。注：（　　）内はビデオ内容。
1　イントロダクション：講義の概要と進め方　（公平とは何か）
2　経営者倫理観に関する調査その１（大雪後のショベル値上げは正当なのか）
3　経営者倫理観に関する調査その２（3人対1人の税人は正義なのか）
4　企業倫理と不祥事：雪印食中毒事件その１（あなたの究極の選択：路面電車）
5　企業倫理と不祥事：雪印食中毒事件その２（5000人の白熱教室：市の命名権他）
6　企業倫理と不祥事：エンロン事件その１（巨大企業エンロン、如何に崩壊したのか　上篇）
7　企業倫理と不祥事：エンロン事件その２（巨大企業エンロン、いかに崩壊したのか　下篇）
8　企業倫理の良い例：トヨタ・キヤノン（トヨタの米国公聴会2つ）
9　経営原理と経営モデルその１（モダン・タイムズ）
10　経営原理と経営モデルその２（5000人の白熱教室：ダフ屋と大学寄付）
11　企業倫理論の背景と発展（ハーバード大学白熱教室：功利主義の功罪　前編）
12　不祥事と企業統治：導入（効用の質：高級と低級の喜び？　前編）
13　現代企業の所有支配、企業統治と企業倫理その１（効用の質：高級と低級の喜び？　後編）
14　現代企業の所有支配、企業統治と企業倫理その２（正義と権利：課税に正義はあるか？前編）
15　大学の倫理（イエール大学）

授業形態（アクティブ・ラーニング）

	ア：PBL（課題解決型学習）
	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
○	ウ：ディスカッション、ディベート
○	エ：グループワーク
	オ：プレゼンテーション
	カ：実習、フィールドワーク

準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

毎回、「知識は力になる」こと、を実感できる。
毎回、「能力を蓄積する」こと、を実感できる。
だから、他のたくさんの授業のように、期末だけで猛勉強による一発勝負することはない（人生も同じような状況だろう！つまり人生も基本的に一発勝負ではなく、長年平日の積み重ねる努力こそは大事！）。
恐らくこの授業は、あなたの頭に永遠に残る大学授業の一つである（授業が終わっても長く長くまで鮮明に覚えるかもしれない）。
興味と余力があれば、授業の指定する参考文献をも読んでほしい。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

講義を聞くだけではなく、考えてグループワークで喋べたり、発言をする。
映像を見るだけではなく、メモしたり分析して、レスポンに回答を出し、発言をする。

実務経験の有無及び活用

備考

学生による評判が高い本授業は以下の特徴があるので、真面目な心構えがあれば是非一度体験してみませんか。
①遣り甲斐のある授業（そうか！これこそは大学らしい授業だ！）。
②静かで受講できる環境（私語ほとんどない！）。
③退屈ではない（退屈の時間さえもない！）。
④みんな一緒に互いに勉強する（自力・他力、皆の力を感じろう！）。